

令和8年度 緑化運動・育樹運動・全国育樹祭
標語・ポスター原画
学校関係緑化
コンクール
実施要領

趣 旨 公益社団法人国土緑化推進機構主催（農林水産省・文部科学省後援）の国土緑化運動・育樹運動標語並びにポスター原画募集及び、全日本学校関係緑化コンクールに呼応し、緑化思想の高揚を図るため、本コンクールを実施します。

併せて、令和10年秋季に神奈川県で開催する「第51回全国育樹祭」に向けた機運を高め、県内外に幅広く周知していくため、「全国育樹祭大会テーマ」「全国育樹祭ポスター原画」を募集します。

主 催 公益財団法人かながわトラストみどり財団
共 催 神奈川県
後 援 神奈川県教育委員会

<令和8年度実施コンクール>

I 緑化運動・育樹運動標語コンクール
全国育樹祭大会テーマコンクール

1 募集作品

- (1) 樹木を植える・森林を育てる・守る大切さや未来への希望、人と緑の関わりを表現したもの。
- (2) 簡潔で語調の良いもの。**創作に限る。**

2 応募点数 **1人1点**とする。

3 応募資格 神奈川県内の小学校・中学校(中等教育学校含む)・高等学校・特別支援学校の児童生徒並びに、県内在住・在勤・在学(大学、専門学校等)の方(以下、「一般」という)。

4 応募方法

(1) 児童生徒の作品は、学校長が「**標語出品様式**」(別紙1-1、及び別表Iを参照)に連記の上、当財団事務所へ提出する。

※児童生徒が書いた用紙の提出は不要。

※標語出品様式は、財団ホームページからダウンロード可能。

【提出先】

〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
(公財) かながわトラスとみどり財団

(2) 一般の作品は、郵送または e-kanagawa 電子申請(電子申請システム)(以下「e-kanagawa 電子申請」という)にて神奈川県に応募してください。なお、直接持参による応募は受け付けません。

・郵送の場合

「**令和8年度 緑化運動・育樹運動標語 全国育樹祭大会テーマ作品応募用紙**」(別紙1-2)に必要事項を記入のうえ、下記まで郵送にて提出してください。

【提出先】

〒231-8588
神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県環境農政局森林再生課全国育樹祭推進室

・e-kanagawa 電子申請の場合

e-kanagawa 電子申請から必要事項を入力のうえ、申請してください。

【応募先】

下記の応募フォームから入力をお願いします。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=123738



II ポスター原画コンクール

1 募集作品

(1) テーマ

自由。特に、木を植える、樹木や緑を増やそう・大切にしよう・守り育てていこうとする意欲の高揚を強調したもの。

ただし、作品は**文字を挿入しない、縦画(たて長)**で、**創作に限る**。

(2) 画材規格

クレヨン・パステル・アクリル・水彩用絵の具等とし、手書きに限る。(貼り絵も含む)

ただし、他の作品を汚損するおそれのある**油絵の具等は使わないこと**。

貼り絵の場合には、郵送配送時の欠損を考慮し、確認用に提出前の作品の原画カラー写真(サイズは原画の1/2以上)を作品確認用に添付する。

(3) 用紙規格

画用紙(ケント紙を含む)又は紙製ボードとする。

サイズは**B3判(縦51.5cm・横36.4cm)**または四ッ切(縦54.5cm・横39.3cm)とし、パネルは使わないこと。

2 応募点数 **1人1点**とする。

3 応募資格 神奈川県内の小学校・中学校(中等教育学校含む)・高等学校・特別支援学校の児童生徒

4 応募方法

(1) 応募作品の裏面中央に、1点に1枚「原画出品票」(別紙3、及び別表Iを参照)を貼り付ける。

(2) 学校長は児童生徒の作品の中から優秀なもの50点以内を選び、

「原画応募様式」(別紙2及び別表Iを参照)を記入の上、添えて当財団事務所へ提出する。

※原画応募様式は、財団ホームページからダウンロード可能。

【提出先】

〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

(公財) かながわトラストみどり財団

I・II コンクール共通事項

1 応募締切

令和8年9月10日(木) 必着

2 応募作品の審査

提出された作品は、別に定めた要領による審査会において、最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞・佳作・全国育樹祭特別賞を選出する。

3 審査結果及び表彰

10月下旬に入選者に通知する。入選作品のうち最優秀賞には知事賞を、他の入選作品には理事長賞を贈呈する(ただし、佳作はのぞく)。さらに、今年度に限り、全国育樹祭特別賞を贈呈する。表彰式については、別に日を定めて通知する。

なお、知事賞、全国育樹祭特別賞には、下記のとおり副賞を贈呈する。

・知事賞

副賞 図書カード 3,000円

・全国育樹祭特別賞

大会テーマ 副賞 商品券 30,000円

※入賞者が高校生以下の場合には、同額の図書カードとします。

ポスター原画 副賞 図書カード 10,000円

4 応募作品の取り扱いについて

作品の展示会等を行う為、原則応募作品は返却しない。応募作品の著作権は、当財団に帰属する。ただし、全国育樹祭特別賞を受賞した作品の著作権は、神奈川県に帰属し、令和10年秋に開催する「第51回全国育樹祭」の広報資料として幅広く使用する。

5 公益社団法人国土緑化推進機構への応募

当コンクールで入選作品の内、全国育樹祭特別賞以外の優秀な作品を公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「国土緑化運動・育樹運動標語募集」並びに「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集」に応募する。

入選された作品の著作権は国土緑化推進機構に帰属する。

6 入選作品のホームページ掲載

当コンクールで入選者及び入選作品は当財団ホームページの緑化運動・育樹運動ページ(<https://ktm.or.jp/concours/>)及び神奈川県のホームページ等に掲載する。



7 全国育樹祭特別賞について

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情

を培うことを目的に、昭和 52 年から毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です。
令和 10 年に本県で「第 51 回全国育樹祭」を開催するにあたり、県内外に開催の意義等を広く周知するとともに、開催機運を高めるため、本県の持つイメージや開催理念を表した「全国育樹祭大会テーマ」「全国育樹祭ポスター原画」について、今回提出された作品の中から採用します。
なお、第 51 回全国育樹祭開催理念については別紙 4 のとおりです。

Ⅲ 学校関係緑化コンクール

1 コンクールの部門 (1) 学校林等活動の部 (2) 学校環境緑化の部 (3) 協力者の部

2 応募資格

(1) 学校林等活動の部

広く学校林等(*)を計画的、組織的に活用して、児童生徒の緑化に関する教育・森林体験学習等(高等学校における林学科のみの活動を除く。)に顕著な教育効果がみられる学校

(*) 学校林等：該当する森林と学校との関わりについては、それが所有権によるものなのか使用・賃借契約によるものか等のいかなを問わない。

(2) 学校環境緑化の部

児童生徒等による、計画的・組織的な環境緑化を進め、顕著な実績をあげるとともに、樹木等を活用して児童生徒等の教育効果がみられる学校

※ (1) (2) とともに、前年度に本コンクールで特選・準特選を受賞した学校及び全国レベルの緑化に関係する表彰等において、本コンクールの特選・準特選と同等レベル以上の賞を受賞した学校を除く

(3) 協力者の部

学校関係緑化に特に功績のあった団体または個人(原則として公職者を除く。)

3 応募方法

(1) 学校林等活動の部 学校林等活動状況調書(様式 1)を作成し提出する。

(2) 学校環境緑化の部 学校環境緑化実施状況調書(様式 2)を作成し提出する。

(3) 協力者の部 学校関係緑化協力状況調書(様式 3)を作成し提出する。

※ 調書様式は、財団ホームページからダウンロード可能

※ 応募資格のとおり、対象が限られますので、応募を希望する学校並びに個人・団体は当財団まで照会ください。

4 応募締切 令和 8 年 9 月 1 0 日 (木) 必着

5 応募先 〒220-0073 横浜市西区岡野 2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
(公財) かながわトラストみどり財団

6 審査

提出された調書は、当財団の審査会により最優秀校・入選校並びに優秀な団体・個人を選出する。

7 審査結果及び表彰

10 月下旬に入選校並びに団体・個人へ通知する。表彰式については、別に日を定めて通知する。
入選校並びに団体・個人の優秀なものには知事賞を、他の入選には理事長賞を贈呈する。

8 公益社団法人国土緑化推進機構への応募

当コンクールで入選した学校・団体・個人の内、優秀なものを公益社団法人国土緑化推進機構が主催する「全日本学校関係緑化コンクール」に推薦する。

市町村等番号一覧表 (当コンクール独自の認識番号です)

市町村	番号	市町村	番号	市町村	番号	市町村	番号
横浜市	1-1	大和市	3-1	平塚市	4-1	小田原市	6-1
川崎市	1-2	海老名市	3-2	秦野市	4-2	箱根町	6-2
横須賀市	1-3	座間市	3-3	伊勢原市	4-3	真鶴町	6-3
相模原市	1-4	綾瀬市	3-4	大磯町	4-4	湯河原町	6-4
		厚木市	3-5	二宮町	4-5		
藤沢市	2-1	愛川町	3-6				
鎌倉市	2-2	清川村	3-7	南足柄市	5-1		
茅ヶ崎市	2-3			中井町	5-2	県立	7-1
逗子市	2-4			大井町	5-3		
三浦市	2-5			松田町	5-4	私立	8-1
葉山町	2-6			山北町	5-5		
寒川町	2-7			開成町	5-6		

原画ポスター作品を応募される際の注意点

次の応募作品は審査対象外となりますので、ご注意ください！

- ◎横画
- ◎文字入り
- ◎油絵
- ◎応募規格以外の用紙サイズ

☆必ず、応募する作品の裏面中央へ、1作品に1枚の出品票（別紙3）をはがれないように貼り付けてください。

☆提出の際は、学校単位・学年単位に取りまとめて送ってください。

☆作品を梱包する際、包装紙と作品がガムテープなどで貼りつかないようにご注意ください。開封時、作品を破損させてしまうおそれがあります。

☆作品は、丸めないで送付していただきますよう、ご協力をお願いします。

☆当財団ホームページでポスター原画作品の発送例も掲載しております。

<https://ktm.or.jp/News/concours-hasso/>



令和8年度 緑化運動・育樹運動標語 全国育樹祭大会テーマ 作品応募用紙

1 作品（標語・大会テーマ）

--

2 応募者情報

住所	〒		
フリガナ		年齢 (応募日現在)	
氏名			
電話番号		生年月日 (西暦)	年 月 日
E-mail			
県内勤務先・ 学校名 (※)	勤務先・学校名		
	所在地 (県内市町村名)		
	学年		

※ 神奈川県外に在住で、県内に勤務されている方は、会社・団体名及び勤務先の所在地を記入してください（県内に在住の方は記入不要です）。

県内に在学（大学、専門学校等）されている方は、県内県外の在住にかかわらず、学校名、所在地及び学年を記入してください。

※コピーしてお使い下さい

令和8年度 緑化運動・育樹運動・全国育樹祭ポスター原画コンクール出品票		
市町村	_____市・町・村・県・私 立	市町村等番号 一
学校名・学年	_____学校	_____年
ふりがな		
氏 名		
画 題		
この絵を描いた わけ (制作の意図)		

※コピーしてお使い下さい

令和8年度 緑化運動・育樹運動・全国育樹祭ポスター原画コンクール出品票		
市町村	_____市・町・村・県・私 立	市町村等番号 一
学校名・学年	_____学校	_____年
ふりがな		
氏 名		
画 題		
この絵を描いた わけ (制作の意図)		

第 51 回全国育樹祭開催理念

神奈川県には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで、約 9 万 4,000 ヘクタールに及ぶ森林があり、豊かな水や澄んだ空気、多様な生物や穏やかな気候など、沢山の恵みをもたらしています。

本県では、特に、森林の持つ水のかん養や浄化などの機能に着目し、都市部も含めた県民全体で水源環境を守っていくという理念のもと、平成 19 年度から、個人県民税の超過課税を活用して、森林の整備などの水源環境保全・再生施策に取り組んでいます。

荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山やその周辺地域でシカ管理等に取り組んだ結果、多くの事業実施箇所でも下層植生の維持・増加による土壌保全機能が向上し、森林の荒廃に歯止めをかけることができました。

一方で、林道から近い人工林の多くは、高齢級に偏っていることから、公益的機能を損なわないよう配慮しながら、植替えにより森林の世代交代を段階的に進め、林齢構成の多様化を図るとともに、間伐や主伐で生産される木材については、建築物等への利用を促進することで、脱炭素社会の実現に貢献しています。

また、植替えにあたっては、神奈川県が全国で初めて発見した無花粉ヒノキなど、無花粉や少花粉の苗木を使用することで、花粉の少ない森林に変えていきます。

こうした背景のもと、本県で全国育樹祭を開催することは、都市部も含めた県民全体で森林を守り育てることや、木材生産、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収など、森林が持つ豊かで多面的な機能の重要性について、県民の皆様の関心と理解を深め、かながわの森林の恵みを次世代に引き継いでいくうえで、大変大きな意義があります。

そこで、次の 3 つを柱に第 51 回全国育樹祭を開催します。

(1) みんなで守りみんなで育てる

水源かん養や土砂災害防止、木材等生産に加え、生物多様性の保全やグリーンカーボン、癒し効果など、様々な機能を持つ森林を、県民共有の大切な財産として、都市部も含めた県民全体で守り育てていきます。

(2) 多面的機能をしっかり活かす

森林の適切な管理や県産木材の利用促進に加え、J-クレジットの創出による新たな価値の創造など、様々な取組を行い、かながわの森林が持つ多面的機能を十分発揮できるよう、利活用を図っていきます。

(3) 森の恵みを未来につなげる

森林を守り育てることの大切さや、かながわの森林づくりの取組を広く発信していくことで、森林の多面的機能からもたらされる豊かな恵みを次世代に継承していきます。

令和 年度 学校林等活動状況調書

1 学校の名称および所在地（ふりがなをつけ、郵便番号、電話番号を付記すること。）

2 学校長の氏名

3 学校の現状（5月1日現在）

- (1) 児童・生徒数（学年別，男女別）
- (2) 学 級 数（学年別 ）
- (3) 教 職 員 数（男女別 ）

4 地域社会における学校および校区の概要

5 教育的に活用している学校林等の現況

A 学校林の場合（全学校林について）

区 分	面 積 (ha)	樹 種	林 齢	生 育 状 況	学校から の 距 離	所 有 者 名 義	備 考
人 工 林							
天 然 林							
未 立 木 地							
計							

(注) (1) 生育状況は附近の一般造林地と比較して記入すること。

(2) 前年度に植栽，保育を行った場合は備考欄に概要を記入すること。

B その他の森林の場合（活用している全ての森林について）

区 分	面 積 (ha)	樹 種	林 齢	学校から の 距 離	所有者 名 義	活用形態	備 考
人 工 林							
天 然 林							
そ の 他							
計							

(注) (1) その他は未立木地等がある場合に記入すること。

(2) 活用形態の欄には，活用している森林が借地であるか，一時使用許可地であるか等の区分を記入すること。

(3) 植栽，保育等を行った場合は備考欄に概要を記入すること。

6 教育活動における学校林等の位置づけ

(1) 学校林等の経営方針

(2) 教育活動における学校林等活動の位置づけや目標

教育活動における学校教育目標と学校林等活動の位置づけや学校林等活動の目標，主たるねらい等（次の活動種目と教科・科目との関連を述べても可（簡潔に））について記入すること。

7 学校林等の教育的活用状況

(1) 前年度(4月～3月)の活動状況

年月日	活動種目	教科・科目等	参加者数		備考
			学年	人員	

(注) (1) 活動種目欄は森林体験学習，林業体験，植栽，学校林整備・保全，動植物の観察，植物採集，写生などと記入すること。

(2) 教科・科目等欄は，各教科等，総合的な学習の時間，特別活動などを記入すること。

(2) 上表の活動種目毎の前年度の活動状況・学習内容（目標・様子・成果等）について，写真を添付するなど具体的に説明すること。

活動種目	活動状況・学習内容

8 活動における地域社会との連携と活動の成果（波及効果）

(1) 当該学校の所在する地域社会（PTA，学校支援ボランティア等の地域住民，関係機関等）の協力状況を記入すること。

(2) 学校林等活動の成果について，教職員の感想，児童生徒の作文・アンケートなどを含めて説明し，特に地域や他の学校に及ぼした効果があれば，その旨記入すること。

9 その他

(1) 全日本学校関係緑化コンクール参加歴，表彰歴

(2) その他，当コンクールに関する表彰歴（都道府県学校関係緑化コンクール，緑の少年団活動等）

(3) その他特記することがあれば，記入すること。

(様式1の作成上の注意事項)

1 調書は，すべてA4版，縦長，横書き，上とじとし，説明は簡潔明瞭に10頁以内にとりまとめて作成すること。また，原則として，文字の大きさは様式に揃え，余白等は既定のままとすること。

2 写真，図表，作文等の添付は5頁の範囲内とし，全体として15頁以内にとりまとめること。調書に写真，図表，作文等に挿入して作成する場合も15頁以内にとりまとめること。

平成 令和 年度 学校環境緑化実施状況調書

(学校の状況)

1 学校の状況

(1) 学校の名称

(2) 学校の所在地

郵便番号

住 所 (ふりがな)

電話番号

2 学校長の氏名

3 学校の現状 (5月1日現在)

(1) 児童・生徒数 (学年別, 男女別) / 学 級 数 (学年別)

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	その他	計
男 子								
女 子								
合 計								
学級数								

(2) 教 職 員 数 (男女別)

職 名	校 長	副校長 教 頭	教諭等 ※1	事務職 ※2	その他 ※3			
男 性								
女 性								
合 計								

※1 教諭等欄は, 主幹教諭・指導教諭・養護教諭・栄養教諭・講師・実習助手等再任用を含む

※2 事務職欄は, 事務長・事務主幹・事務主査・事務主任・事務主事・技術職員等を含む

※3 その他欄は, 寄宿舍指導員・支援員・PTA雇用員等を含む

(3) 校地等の面積 (校地全体, グラウンド, 建物別面積)

校地面積 ha / 建物面積 ha

屋外運動場等敷地面積 ha / その他面積 ha

※ 建物面積は校舎・屋内運動場等, 屋外運動場等はグラウンド・プール等を含む。

※ その他は校地面積から建物面積と屋外運動場等敷地を減じた面積とする。

4 地域社会における学校および校区の概要

(学校環境緑化の経過)

5 前年度の学校環境緑化計画と実施状況および教職員研修の概要

(1) 前年度の実施状況

実施項目	実施内容

(2) 前年度の目標、計画、組織、実施状況の概要

(3) 前年度の教職員の研修活動状況および成果

以上について、教育環境整備のために樹木を緑化の中にどのように位置づけ、どのように取り上げているか等を説明のこと。

(学校環境緑化の実施内容)

6 前年度の教育活動における環境緑化活動の実施状況

5 (1)に記載の個々の活動状況（特に樹木を活用したもの）について具体的に記入すること。

(1) 前年度の学校環境緑化活動の状況

年月日	活動種目	教科・科目等	学年	参加人数			備考
				児童生徒	教職員	その他	

(注) (1) 活動種目欄は森林体験学習、植栽、整備保全、動植物の観察、植物採集、写生などと記入すること。

(2) 教科・科目等の欄は、各教科名、総合的な学習の時間、特別活動などと記入すること。

(3) その他の参加人数は、児童生徒・教職員以外（PTA・ボランティア・講師関係者等）を記入すること。

(2) 上記の活動種目毎の活動状況・学習内容について、写真を添付するなど具体的に説明のこと

(ア) 教科等の指導においてどのように取り扱われているか。

(イ) 総合的な学習の時間の指導においてどのように取り扱われているか。

(ウ) 特別活動（学校行事等）において、どのように指導し、児童・生徒はどのような活動をしているか。

7 学校環境緑化の現状および管理の状況

現状や管理の状況がわかるように説明のこと。特に樹木の状況と、草花等と区分して説明のこと。

- (1) 学校環境緑化の見取図（学校敷地すべてを含む全体の見取図とそれを補足する写真，樹木台帳等）
- (2) 緑化施設，設備の状況（ゾーン毎の説明と写真等）
- (3) 緑化施設の管理（管理の方針，維持管理など）状況
※外部業者が実施した場合はその旨記載のこと

8 地域社会との連携

P T A，その他地域との連携および地域社会との交流とその他特記すべき事項を具体的に説明のこと。

- (1) P T Aとの連携
- (2) 地域（学校支援ボランティア等含む）との連携
- (3) 地域社会との交流

9 その他

- (1) 全日本学校関係緑化コンクール参加歴・表彰歴
- (2) その他，当コンクールに関する表彰歴（都道府県学校関係緑化コンクール，緑の少年団活動等）
- (3) その他特記すべき事項

（様式2の作成上の注意事項）

調書は，すべてA4版，縦長，横書き，上とじとし説明は簡潔明瞭に，写真，図表，作文等を含めて15頁以内にとりまとめて作成すること。また，原則として，文字の大きさは様式に揃え，余白等は既定のままとすること。

令和 年度 学校関係緑化協力状況調書

- 1 団体名または氏名（必ず「ふりがな」をつけること。）
- 2 結成年月日または生年月日
- 3 活動目的または職業
- 4 事務所の所在地または住所（郵便番号，電話番号を付記すること。）
- 5 功績の内容
学校関係緑化に特に功績のあった業績について写真等を使い具体的に記載すること。
- 6 その他参考事項
- 7 受賞歴
- 8 記載責任者（役職・氏名）

（様式3の作成上の注意事項）

調書は，すべてA4版，縦長，横書き，上とじとし，写真等を含めて5頁以内にとりまとめて作成すること。また，原則として，文字の大きさは様式に揃え，余白等は既定のままとすること。